

競技中のマナーについて

文責 葎葉 歩未

競技中のマナーについて、本ミで出た内容をまとめました。
トラブルに合わないためにも、また合ってしまったときに対応できるように確認しておいてください。

☆藪の中から道にでるとき

- ゆっくり出てはっきりと元気よく挨拶（とびださない!）
- できるだけ人と会わないようにする
- できれば大きな道に看板設置

☆人を追い抜くとき

- 熊鈴で自分の存在をアピール
- 走るスピードを落として怖がらせないようにする
- あいさつ!

☆怒られたとき

- 所属と活動内容を説明
- クレームがひどければひたすら謝る

☆一般的な登山マナーを身に着ける

- すれ違いは相手優先
- 追い抜くときは声をかける
- 小径では自分が道を外れる
- 下りはスピードをだしやすく驚かせてしまうのでとくに注意。
- 主要道は歩道を走る（車の邪魔をしない、自分がひかれなかったためにも）
- 拠点は広がりすぎない、ごみは自分のものでなくても拾って残さないように
- 参加者がそのトレインの許可の内容をきちんと把握しておく